

社会福祉情報・活動情報誌「きれい」



伊勢亀鈴会
ホームページは
←こちらから

福祉新聞
WELFARE NEWS
복지신문
VOL

152

きれい

「生命の輝き」シリーズに基づく
地域貢献活動の実施

社会福祉法人 伊勢亀鈴会

理事長 横山 仁司

かいさわ

鈴鹿市深溝町三九四八

うさぎ

わたしのプロフィール

誕生日	R6.11.24
身長	545cm
体重	100kg
好きな食べ物	にんじん
耳の長さ	160cm
目の大きさ	26cm
作った日数	24日
延べ人数	436人
使ったわら	2.3a分

うさぎさんの中に入
れるよ



ホテルの客室
からの夜景

東側から神戸の市街地～大阪湾まで広がる夜景が愉しめる。
又、ホテルのすぐ側を通るハイウェイの明かりが、美しい光の帯を創り上げ、夜景を一層華やかにしています。

目次

■巻頭インタビュー ————— 1

「生命の輝き」シリーズに基づく 地域貢献活動の実施

社会福祉法人 伊勢亀鈴会
理事長 横山 仁司

■なかま ————— 6

体を動かすと心も動く

宮の里ミタスメモリアルホーム

谷口 慎一 さん

■道のり ————— 7

～日中活動室の増築～ 「日中活動の充実、安心のサービス提供」

八野生活介護センター

■ハートフルリレー ————— 8

みなさんの夢はなんですか？

南勢就労支援センター 中西 友理奈
看護師

■春夏秋冬 ————— 9

行事・クラブ・活動紹介

■きれイトピックス ————— 17

「もにす認定企業」に選出
永年勤続表彰
成人・還暦祝い
三重県障がい者芸術文化祭
伊藤和之さん追悼

■きれいアートギャラリー ————— 20

日中活動作品紹介

■きれいかいの動き ————— 表3

新職員・人事異動他

表紙写真

わらアート

深伊沢地域づくり協議会の方々が稲わらを使って作ったもの。うさぎの大きさは545cm、製作期間は約2ヵ月、展示期間は11月末～3月末まで見ることができる。冬の風物詩として今回で5回目。今年はどうかなわらアートができるか楽しみだ。

「生命の輝き」シリーズに基づく 地域貢献活動の実施

社会福祉法人 伊勢亀鈴会

理事長 横山 仁司



今日は、新年度のスタートにあたり理事長の横山さんにお話しをお聞きします。

インタビュアーは、第2南勢就労センターの糸川知成と、南勢就労センターの林浩子です。

糸川…令和7年度の事業運営方針の中で、「生命の輝き」シリーズに基づく地域貢献活動の実践とありますが、今日は、その背景や理事長の考えを中心にお聞かせ願います。

理事長…はい。私たちの伊勢亀鈴会は、地域の皆さんにご支援を頂き、創業開始以来40余年が経ちました。人間で言えば40歳になったのです。もうそろそろ両親にご恩返しする年齢ですよね。伊勢亀鈴会も地域の皆さんに何らかの形で、貢献しないといけないと考えたのが一つで、もう一つは、職員数が350人を超えたこのマンパワーをいかに結集して一つの目標に向かって、一年間取り組む。いわゆる「インナーキャンペーン」と称して、今年の1月15日からスタートしたのです。

Q1、テーマを「生命の輝き」シリーズとされた背景をお聞かせください。

理事長…核家族化が進む中で、三重県下の「空き家」が既に12万戸とも言われ、どんどん増え続けています。永年、家族と共に住み慣れた家が放置されていくことを目にするのが痛みます。かつてはお父さん、お母さんが我が家として沢山の思い出を残して頂いた家を事情あって「空き家」にせざるを得ない時に、唯一ご両親の「生命の輝き」を永遠に残すことがご恩返しだとするお葬儀文化を構築すべきだと考えたのです。



糸川…人は亡くなっても月日が経てば経つほど、「生命の輝き」は増すと言われることですね。お葬儀が終われば全てが終わるのではなく、亡くなった家族の残された遺産相続、遺品整理、家屋の解体、土地の利活用などが全て一連の「生命の輝き」に結びつくと言っていることですね。

理事長…そうですね。故人が生きてこられてきた証しの遺産を「生命の輝き」として形ではなく心に残して欲しいとの想いが私達伊勢亀鈴会の訴えなのです。

糸川…ありがとうございます。「生命の輝き」シリーズは、故人様が生きてこられてきた証しの遺産を、形ではなく心に残してほしいという想いがよく分かりました。

「生命の輝き」シリーズはワンストップ営業として、5つの項目（①お葬儀 ②遺産相続 ③遺品整理 ④空き家解体 ⑤不動産仲介）ありますが、一つずつ深くお聞きしていきたいと思っています。

Q2、お葬儀ついて、葬祭事業を始めるにあたり、意識したことは何でしょうか？

理事長…約12年前、1件120万円の葬儀の内、60万円が祭壇代という事実疑問を抱き、葬儀文化を変えようと思い、いろんな所に見学に行きました。その過程を経て、今の福祉葬祭の形を作りました。ドライアイスで雲海（天国）を表現したり、故人様の生前の好物をお別れの際にお渡しするなど、その方の「生命の輝き」を感じて頂くことや、35万プランの家族葬を考えました。御見積後に追加で請求することなく、祭壇のようにならぬ金額をお客様からお支払いいただく事のないようにしました。

糸川…ありがとうございます。雲海を表現し、そこから天へ登っていくというのがよくわかりました。また見積り以外に追加で費用がかかるという話は以前に聞いたことはありますので、お見積り金額のみということはお客様に安心して利用いただけますね。

Q3、遺産相続事業を始めるきっかけは何でしょうか？

理事長…遺産相続事業を始めたきっかけは私自身が土地等の相続を受ける際に、いろんな所へ行つて、書類提出や手続きが非常に大変だったという体験から来ています。父の7回忌の後に遺品がたくさんあり、写真1枚1枚に思い出があり整頓が本当に大変でした。その時に、私は一緒に住んでいるから遺産相続手続をしたけど、もし遠方に住んでいたらほったらかしになるなと思いました。田んぼや畑、山などで皆悩んでいるのではないかと、この状況はなるべくしてなったものと考えました。誰かがこの状況にメスを入れなければ変えないと考え、始める事にしました。そこで、伊勢亀鈴会としては、弁護士さん・司法書士さん・税理士さん・行政書士さんと顧問契約を結び、相談費用も安心して相談していただけるようにしました。

糸川…ありがとうございます。顧問契約を結んでいる専門家に相談できるのは、自分で相談場所を探す手間を省けたり、任せられるのは非常に安心ですね。



Q4、まかせ太君で携わらせていただいている遺品整理事業についての想いをお聞かせください。

理事長：そうですね。なかなか身内では思いうちや気持ちがある為、捨てることが出来ないと思います。サービス業は作業が終わった後に、お客様から「ありがと」を頂く経験が大切です。「自分がこうしてあげたい」「こうしたら喜んでいただけるだろう」という気持ちがあるから伝わるのです。決して上辺だけでは伝わらないのです。

別れは辛いものです。ご家族には思い切ることがなかなかできないものです。そこで第三者であるまかせ太君の役割「すべてまかせてください」です。形ではなく思い出として「生命の輝き」を心に残して欲しいという想いですべてを整理させていただきます。



糸川：ありがとございます。私も携わらせていただいている事業で、以前に生前整理で作業させていただいたお客様より葬儀の事前相談があった際に「しつかりと作業をしていただきありがと」というお礼のお言葉をいただいたとお聞きし、仕事の励みになりました。お客様の思いうちの品を処分するのは心苦しいとは思いますが、そこは仕事だと思い処分をさせていただいています。これからも、お客様に喜んでいただけるように作業をしていきます。

Q5、解体事業・不動産事業はすこし福祉とはかけ離れているように感じますが、どのように考えられたのでしょうか？

理事長：まず解体事業は利用者さんには危険な作業である為、協力業者さんをお願いしています。私たちが出来る部分は全てさせて頂いていますが、遺産相続と同様に専門的なところは専門家に任せる事で、お客様に安心していただけます。

不動産事業ですが、空き家を解体するだけでなく、不動産売買をすることで、解体費用を土地の売買で賄い、遺族に少しでもお金が残れば、空き家問題等の解決策の一つになります。またすべてをまかせていただくことで、お客様にも葬儀・遺産相続・遺品整理・空き家解体・不動産仲介といろんな業者と話す手間が省けたり、安心していただけることで、「生命の輝き」をより感じていただく事ができます。



糸川：ありがとございます。お話をお聞きして、すべてをまかせていただくことで、一つの道のようになり、それが「生命の輝き」が増すと感じました。私も友人や知人にもしっかりと「生命の輝き」キャンペーンをアピールしていきたいと思っています。

Q6、理事長の好きな言葉や名言をおしえていただけないでしょうか？

理事長：「経営の神様」と呼ばれ、パナソニックを一代で築いた松下幸之助さんの言葉の中で「興味を持つ 素直な心」ですね。いろんな方とお話をする機会がありますが、興味を持って素直な心でお話を聞くようにし、その内容を第三者に話すように心掛けています。

誰かに話す事によって、自分の記憶として残る。読んだり見た事を脳に入れただけでは再現が出来ないからです。どこでそれに

気付いたか。某大企業の元社長が一体どうやって様々な事を知り得ているのだろうかと不思議で仕方なかった。そしたら簡単な事だった。例えばAさんに聞いた話をBさんに。Aさん・Bさんから聞いた話をCさんに。これを繰り返すとしっかり自分の記憶に残るようになります。私はてっきり一生懸命勉強をしているとばかり思っていた。だから話の幅が広し沢山の情報を知っているのだと。日々変化し交錯する情報に対応するべく行動を日頃から心掛けるようにしています。

糸川：今までは記憶に残すには何度も見たり、書いたりすることで、記憶に残すという意識はしていましたが、インプットしたことをアウトプットすることで、自分の記憶に残すということは、今まで考えたことがありませんでした。お話を聞きして私も実践していきたいと思います。

理事長：「興味を持つ」というところで、少し紹介したい方がいます。

四日市の株式会社伊藤製作所伊藤澄夫会長です。書籍も出されており『日本製造業の後退は天下の一大事モノづくりこそニッポンの咎』（日刊工業新聞社刊）です。今度お互いにインタビュする予定なのですが、「社員を大切に作る企業」で海外に拠点があったり、東海ラジオの番組を持たれたり、四日市の小



学校に個人で多額の寄付をされ、紺綬褒章を受賞されるなど素晴らしい方です。伊勢亀鈴会としても、ジャムをたくさん使っていたいています。その書籍の内容から今、利用者さん1人1人にあわせた支援と個別支援の大切さ、中核人材をどういう風に育成していくか、管理職のマネジメント能力や危機管理能力のレベルを上げて、伊勢亀鈴会をどういう法人にしていくのか、土台は作ったので、これからは若い人に作って頂きたいと考えています。

糸川：本の帯を書かれている方が、あまりテレビを見ない私でも知っているアナウンサーだった方なので、すごい方なんだなと感じました。最近はネットでしか情報を得ることはないなので、ご紹介いただいた本を読んでみたいと思います。

**Q7、理事長もいろんな賞状が飾られています
が、嬉しかった賞とがありますでしょうか？**

理事長：どれもいただいた賞状は、素晴らしいものです。ただ利用者さんからいただいた賞状はとても大切に特別だと思っています。どんな賞状よりも本当に嬉しく思っています。また視覚障害の方から理事長の顔をイメージしたと紙粘土をいただいたのですが、これは私のお守りで、いつも自分の机の上に飾っています。



糸川：最後に理事長とこうやってお話する機会は、中々ないため、私自身が克服していききたい事についてアドバイスをいただきたいです。

Q8、克服していきたい事というのは、会議や大勢の前での発表や話す時に緊張することです。事前に伝えることや予想される質問に対する回答などは考えているのですが、過度の緊張や予想していない質問があったりすると頭が真っ白になり、言葉がでなくなることがあります。何かアドバイスをいただけないでしょうか？

理事長：まずはその活動に「興味を持ち、疑問を持つ」ことです。そしてやってみようと自ら機会を得て「チャレンジすること」、最後に「経験を積む」ということです。



生命の輝き

その人の歩んでこられた生涯の軌跡は、
月日が経てば経つほど、輝きを増すと言われます。



① お葬儀

家族葬35万円
「福祉葬祭三重」



② 遺産相続

弁護士・司法書士
税理士・行政書士



③ 遺品整理

きれいませ太君



④ 空き家の解体

三重県下全域



⑤ 不動産仲介

解体費用を
売買益で吸収

5つのお困りごと全て解決！





生命の輝きチャンネル

●案内人
●吉本の
「ほんちきよし」






伊勢亀鈴会

ISE KIREI KAI

お客様相談センター 平日/8:30～17:00 (土・日・祝日は除く)

0120-375-373

本部/〒513-0837
三重県鈴鹿市八野町428-1
伊勢亀鈴会 三重県記録 11 第305号



私自身も若い頃は、恥ずかしくて顔真っ赤になってしゃべれないこともありました。当時、その状況を変える為に、まず目標を立て、青年部役員に立候補し、人前で話す機会を増やして、経験を積むことで、真っ赤になり、しゃべれないということもなくなりました。大勢の前で話すときは、今でも緊張はありますが、傍聴者さんの中から、ある一人を決めてその方の目をじっと

見ながら、話すことで、緊張しなくなるので、参考にしてみてください。経験をされる前に自分も努力する事も大切です。積極的に参加し、経験を積んで行ってください。

※川：「興味をもって、チャレンジし、経験を積む」ということが貴重なアドバイスがありがとうございます。会議で発表がしっかりとできるように、経験を積んでいきます。



体を動かすと心も動く

宮の里ミタスメモリアルホーム 谷口慎一さん

今回ご紹介するのは、令和5年に宮の里ミタスメモリアルホームへ入所された谷口慎一さんです。

入所当初は居室で過ごす事が多く、日中活動にも参加されなかった為、他利用者さんと接する機会がありませんでした。職員と会話する際は笑顔も見られ、性格も明るいことから何かできればいいなあと考えていました。担当職員と相談した結果、身体を動かす取り組みを一つ一つ進めていく事になりました。

居室で日々筋トレを行い腕に力をつける事で難しかった自力での車イス移乗がスムーズに出来るようになりました。次は車イスから便座への移乗にチャレンジです。しばらくは職員の見守りが必要でしたがチャレンジを重ねることで、一人で移乗する事が出来る様になりました。以前は排泄介助が必要としていましたが、今は完全に自立されています。

チャレンジする事で出来る事が増えたので、歩行する事にも挑戦中です。強い意志で頑張り、今では平行棒と歩行器で歩く練習の日々。日に日に活動的になっていき、他の利用者さんとも交流が増えた事で、以前は消極的であった日中活動に参加できるようになりました。いつからか、雨の時以外は朝と夕に車イスで散歩に出かけるようになり、毎日続いています。

そして目指していたお伊勢さんマラソンに参加しました。寒い中でしたが、1.8キロ完走出来ました。来年も参加したいと意欲が沸いてきて、日々筋トレ、散歩、リハビリなど頑張っています。



腹筋を鍛えて



平行棒で歩く



ゴールを目指して進み中



お伊勢さんマラソン記念写真



歩行器で練習中



ゴール

道のり

「日中活動室の増築」～「日中活動の充実、安心のサービス提供」

八野生活介護センターでは、令和6年8月より日中活動室の増築工事をスタートした。工事を進めるにあたり利用者さんの目線で車椅子の利用者さんでも負担なく本体施設からの行き来ができるように建物基礎を限界まで下げた（高低差20センチを解消）

その他の設備として

- ・雨風の影響を受けないエクステリア
 - ・転倒防止のための手すり
 - ・夜間でも通行できるセンサーライト
- の設置を決定し本体工事を進めた。

増築する目的として、「5類以降も感染対策ができるスペースの確保」「施設をご利用されている利用者さんへの活動スペースの拡充」とした。

①「感染対応時の環境を整える」こと

- ・最大7床まで対応できるスペースの確保
- ・換気ルートの確保
- ・手洗い消毒スペースの確保
- ・リクライニングベッドの常設

平時は日中活動スペースとして活用することから設備は必要最小限にしている。

②「障がい種別と年齢を問わない日中活動ができる」こと

- ・児童利用者さん向けの学習療育（SST：社会的スキルを身に着けるトレーニング）
- ・通信環境（Wi-Fi）
- ・車椅子の方でも使用できる広いトイレの設置

室内の壁紙や床材も落ち着いた配色にし、心身穏やかに過ごせる環境にしている。また、今まで出来ていなかった行事や職員のコミュニケーションスペースとしても活用していく予定である。施設に訪れた際には見学することも可能となっている。



外観



室内



エクステリア（通路）



学習スペース



静養ベット完備

みなさんの夢はなんですか？

南勢就労支援センター

看護師 中西 友理奈

私は、介護福祉士として勤務したのち、看護師の資格を取得し、総合病院に勤務後、訪問看護師として仕事をしました。ご縁があり、昨年の7月に南勢就労支援センターに入職し早8か月が経過しました。

理事長の「すべての事業所に看護師を配置する」という意向により、南勢就労支援センター所属初の看護師となりました。

最近、看護師がいることで安心するとよく言われ、とてもうれしく感じています。

しかし、就労施設の利用者さんは、日頃から体調も安定していることが多く、「看護師らしい業務（薬の管理や医療的処置など）」はほとんどありません。そのため「いったい自分に何ができるのか？」をもっと考えないといけないと思う最近の日々です。

専門職でないとできない行為（医療的行為）をすることで、私たちの仕事は比較的簡単に感謝されたりしてしまいます。それは他の人は出来ないからです。しかし、その行為がそれほど必要でもない環境では「ただ、居てくれるだけで安心する」では少しずるいような気がしています。

以前勤めていた「訪問看護」はご自宅に訪問し、その人の命の営みの場にお邪魔させていただいていました。そこはまさに利用者さん中心の世界であり、生きることそのものともいえます。病気の治療のみならず、楽しく過ごしたい、自ら選択したいという思いに直に触れ、その人にとって何が良いかを考え支援をしてきました。「生きることとは？ 幸せとは？」を考えることが増え、健康がゴールではなく一つの手段であるということを実感しました。単なる体の健康だけでなく「Wellness」より豊かな状態、輝いた生き方」を支援したいという思いを強く持ったことも、この南勢就労支援センターへ足を向けるきっかけになったように思います。

現在は、就労施設という施設柄、皆さんが健康的な日々を過ごし就労ができるよう、体調管理や感染対策などの役割を求められています。その少し先にある夢や目標などを知り、支援をしたいと思っています。

皆さんにとつてのWellness、夢や目標をぜひ教えてください。そういうお話が大好きです。



みんなでヤッホー!!



トレーニング 一緒に声を掛け合って

八野生活介護センター

年始めお楽しみ活動

1月3日(金)、年始めお楽しみ活動を行った。

新年一発目の活動。「明けましておめでとうございませう。今年もよろしくお願ひ致します。」と職員、利用者さん互いに新年の挨拶をして午前中は絵馬を書いた。今年の抱負ややりたい事、希望、好きな事等、思い思い書きたいことを書いてもらいシールや絵を書いてデイルームに飾った。

福笑いにも挑戦。「目」「眉」「口」の違いが手探りだけで分からず周りの利用者さん職員にヒントをもらいながら完成させた。午後からは射的とカルタ。射的はお目当てのに何度も当たるまで楽しんだ。カルタは一枚でも多く取りたい気持ちが高く白熱した戦いで、最後に職員によるこま回しを披露し見事成功、利用者さんより拍手喝采！1日色々な体験をしてどの利用者さんもお楽しそうであった。



福笑い



コマ回し



書き初め



願いをこめて

笑顔のお正月

1月1日(水)と2日(木)にお正月イベントを行った。

1日は八野神社でお参り、絵馬にお願い事を書いた。カラオケも楽しまれ、おやつにまる天のたこ棒、チーズ棒を選択していただき甘酒を飲んで正月気分を満喫した。

2日は書初めとお正月遊びにコマ回し、射的、羽子板、坊主めくりなどを楽しみ、おやつにクリームドーナツとカレードーナツを選択していただきジュースやコーヒを飲みながら会話も弾んだ。

新年を迎えるにふさわしい喜びの表情いっぱいのお正月を迎える事ができた。



カラオケ



八野神社で初詣



願いが叶いますように



射的



坊主めくり



ドーナツおいしかった
でしょうか？



おみくじ

放課後等デイサービスURAURA

URAURA八野

URAURA八野のバレンタインウィーク

2月10日(月)～15日(土)は日替わりでバレンタインを楽しむスペシャルウィーク。「チョコレートスヌーズレン」や「愛の歌を歌おう」など甘いタイトルのかいた活動や、チョコを使ったおやつクッキングなど、ハートいっぱいの活動内容にワクワク!!文字通りハッピーバレンタインな一週間であった。



チョコをデコって完成



バレンタインクッキング



バレンタイン制作



大きなハートに紙のチョコ



ハート職人です♡



ハートのシャワー♡



バレンタインスヌーズレン

二重県北部を中心に大雪となった2月8日(土)、早朝から降り積もる雪でURAURA稲生も一面の雪景色となった。万全の雪支度で集まった利用者さん達からは歓喜の声がー雪に寝転んだり雪合戦やそり遊び、雪だるま作りにも力が入る。思いきり雪を楽しんだ後は暖かい室内でランチタイム。職員手作りのグレンデで食べるようなカレーライスやフランクフルト、焼きそばにみんな大満足だった。



雪合戦の大きな球作ってます



雪がまとまらないです～



投げる準備オッケー!



雪、サラサラだよ



ソリで雪を運んでま～す



よいっしょ!よいっしょ!



雪にワクワク!

まるでグレンデ?雪降る中での「雪遊び」

URAURA稲生

八野就労支援センター

日帰り旅行

12月7日(土)、八野就労今年の日帰り旅行は昨年参加できなかった八野生活の利用者さんも参加の旅行となり当日は天候にも恵まれた出発となった。

今年は常滑方面へ。焼き物で有名な場所でもあり、絵付け体験、昼食はジャンボエビフライのお店「まるは食堂」INAXミュージアム「えびせんパーク」等を訪ねた。絵付け体験では利用者さん、自分達でそれぞれ選んだカップ、お皿、招き猫に、慣れない手つきで筆を色付け専用の道具で描かれていた。感想は「思い出に残る物が出来た」「難しかった」「時間が足りなかった」など利用者さんの意見も様々。絵付けされた作品は焼き上がりに二か月程かかりその間も旅の楽しみの時間だ。

次は昼食の時間。朝早くの集合ともあり、そろそろお腹も空く頃、利用者さんのお楽しみ時間。昼食はジャンボエビフライの有名な「まるは食堂」大広間で、普段の様子とは違いテーブルに並べられた豪華なご馳走を頂きながら、利用者さん職員共々、楽しいひと時を過ごした。お腹も満たされてここでは、お買い物時間もあり、一階にあるお土産売り場で友達や家族にお土産を選ばれ、レジは八野就労利用者さんの列となっていた。

旅行もいよいよ後半へ。INAXミュージアム、大好評のえびせんパークと続いた。えびせん体験では、直径40cm以上に出来るえびせん作りに挑戦!!専用の機械に具を乗せ、挟み込むと「シュー」と迫力ある音と、海鮮のいい匂いに包まれて、また感動。利用者さんの「いい匂い」「すごい」この様子に職員共々「良かったな」と思えた日帰り旅行となった。



出来上がりにびっくり!



うまく焼けたかな?



ゴージャスなトイレですね



立派なエントツ!



上手にできました



招き猫、かわいい



海山道さんの前で記念撮影



施設長と一緒に



何が出るかドキドキ



御神光がさし、見事大吉です

初詣・成人・還暦のお祝い

1月11日(土)、初詣、成人、還暦のお祝い。今年は四日市にある海山道神社へ参拝に、集合写真は鳥居の前でパチリ。

この日は参拝客も少なく、八野就労利用者さん、お天気にも恵まれて良い年明けの参拝となった。施設では、温かいおしるこを頂き、成人のお祝いと、還暦のお祝いを行った。

きれいサポートステーション



自分のカラーができました



へーそうなんだ



わ～きれいっ



皆と一緒にハイチーズ!



上手にできた?



どれにしようかな?

キャンドル体験ではガラスの中に形の違うフルーツやドーナツなどを運び、飾り付けながら入れていく。目印のライン以上に中身を入れてしまうと利用者さんもいて数を減らして自分好みのキャンドルを作りあげていった。最後に90度もある熱い透明のロウを入れ、固まったら完成。出来上がったキャンドルを見て、「きれい」「作ってよかった」との声があり、嬉しそうな笑顔が多かった。

令和7年2月6日(木)と13日(木)の2日間に分けて、カメヤマローソク工場見学とキャンドル作り体験に行った。
工場見学では、アクリル板越しにローソクが箱詰めされ出荷されるまでの工程ラインの見学と、カメヤマローソクの歴史を学ぶことができた。中でも驚いたのはローソクの中央の糸の本数の違いにより、炎の揺らめきが違うことを聞いて、職員も利用者さんも一同にびっくり。
キャンドル体験ではガラスの中に形の違うフルーツやドーナツなどを運び、飾り付けながら入れていく。目印のライン以上に中身を入れてしまうと利用者さんもいて数を減らして自分好みのキャンドルを作りあげていった。最後に90度もある熱い透明のロウを入れ、固まったら完成。出来上がったキャンドルを見て、「きれい」「作ってよかった」との声があり、嬉しそうな笑顔が多かった。

カメヤマローソク見学&キャンドル作り体験

5年ぶりの選ぶう行事

令和7年3月に5年ぶりとなる選ぶう行事を開催した。1「知恵と努力のドミノ倒し」、2「癒しのさるびの温泉」、3「ばらまき食材集めクッキング」、4「アトラクションゲーム」の4つだ。その中からドミノとさるびの温泉について紹介をしよう。

ドミノ倒しは初の試みで、サポートステーションの作業所内で約1000ピースを使つての大迫力のドミノ倒しとなった。ゆっくり慎重に作っていくように説明するも、何度か途中で倒してしまうこともあった。1回目は全然上手くいかず、そのたびに「あーでもない、こーでもない」と試行錯誤を繰り返して、2回目の最後まで上手く倒れた時には大歓声が上がった。

さるびの温泉は今回で2回目。コロナ以降は初めてで、みんな行く前からワクワク。入浴時間はたっぷり1時間半の時間をとり、体も心もぽかぽか。来年度も選ぶう行事は楽しいものになりそう。



ここまで出来たよ



さるびのにきたよ!



む、難しいなあ



少しずつ、少しずつ

南勢就労支援センター

アロマ体験の効果？

職員のアロマ資格取得により、令和7年2月8日(土)、ハンドクリームの作成とハンドトリートメントの体験を実施。効能や作り方の説明の間に全員でパッチテストも体験。パッチテストが初めてで不安になる方もみえたが、皆で一緒にすればなんのその！周りの雰囲気とパッチテストの意味が分かると一安心！ハンドトリートメント体験では、最初は職員から利用者さんへ。やり方が分かると利用者さん同士で！その後利用者さんから職員へ！マッサージされる職員の普段と違う表情にみんなで大盛り上がり。利用者さんと職員全員で笑い声いつぱいのコミュニケーションタイムだった。



みんなでパッチテスト(採血じゃないよ)



職員から利用者さんへ♡



ハンドトリートメント体験♪



利用者さんから職員へ♡



利用者さん同士で♪

どちらを観る？

令和7年1月、人気の高い外出支援は、明和109映画鑑賞からスタート。「はたらく細胞」と「室町無頼」のどちらかを事前に選んでいたとき、それぞれのシアターに入場！中には初めて映画館に入る利用者さんもみえた。皆さん入場前まではワクワク、ドキドキとした表情をされていたが、中ではすっかりルール、マナーを守り、集中して鑑賞されていた。南勢に戻った際には、「感動して泣いた」「難しかった」などそれぞれの作品の感想を皆さんで言いあっていた。後日、保護者さまから「家で一緒に行く機会がなかったので貴重な経験をさせて頂きありがとうございます」とお言葉を頂いた。今後も楽しんで頂けるような活動を提供していきたい。



ワクワク...ソワソワ...



楽しみ!



初めての映画館!

第2南勢就労支援センター

「金曜ロードショーとジブリ展」

2月21日(金)、津市の三重県総合博物館(Mie Mu)で開催されている金曜ロードショーとジブリ展へ行った。

2月20日で5万人達成ということで、1日違いは新聞に載ったかもしれないねとバスで話しながら向かった。

展示会場近くで、みんなで昼食を済ませ、現地へ向かい、まず1985年を起点に、スタジオジブリ作品の公開年、そして「金曜ロードショー」で初放送された年がどんな時代だったのかを振り返りながら、映画の魅力や各時代の記憶と記録をゆっくりと見ながら楽しむことが出来た。

音と光に包まれるジブリの幻燈楼では、いろんなジブリキャラクターが出てきて、タイミングを合わせて写真を撮っている姿がとても一生懸命で楽しそうであった。また映画に合わせた写真スポットやお買い物で、撮った写真や買い物したものを「見て見て」楽しそうに話す利用者さんの顔は、本当に素敵な笑顔であった。ジブリ展へ行き素晴らしい1日を過ごすことが出来た。



幻燈筆



オウムが攻撃色へ



ジブリ展前の腹ごしらえ



千と千尋の神隠し



主人公になりきって



金曜ロードショーとジブリ展へ



みんなでハイチーズ



王蟲の世界へ

宮の里ミタスメモリアルホーム



コメダさんの椅子に座って



椅子に座って記念撮影



コメダさん出張店



大きな口でケーキを・・・



私はモンブラン



ケーキを前にしてこの笑顔



美味しかったチョコケーキ

宮の里にコメダさんが来てくれました

1月29日(水)、コメダ伊勢上地店さんに出張対応で喫茶店を開いて頂いた。

初めての経験で利用者さんたちは朝からソワソワ。「今日はケーキの日やな」「コメダってどんなところやる?」「私モンブラン食べる」と期待に満ちた表情だった。

お店の制服で店員さんたちがきてくださり、なんとお店の椅子まで写真を撮れるようにと持ってきてくださった。

コーヒーのいい香りが広がり、まだかまだかと利用者さんのキラキラした目が印象的だった。「おいしい」との声が次々とあがり、皆さん本当においしいそうな表情で食べられており、ペロリと完食。

車椅子からおりて初めてコメダさんの椅子に座る利用者さんたちも多く、「初めて座った」と少し照れている表情も見られた。店員さんたちに準備していただいた写真撮影用のセットで店員さんと一緒に写真撮影をして素敵な笑顔をとることができた。

今回、利用者さんに初めての経験をさせていただくことができた。普段喫茶店に行くことがほとんどない利用者さんたちにとって、素敵な時間を過ごすことができたと思う。お店の雰囲気を感じてほしいと言う無茶な職員の依頼を快く引き受けていただいた。コメダ伊勢上地店の皆様ありがとうございました。今後も、利用者さんの楽しみの一つとしてご協力よろしくお願い致します。

二見生活介護支援センター 潮音

サウンドオブクリスマス

12月22日(月)、クリスマスモードに飾られた会場で、利用者さんによるハンドベル演奏から始まったサウンドオブクリスマス。緊張しながらも真剣なまなざしで練習の成果を発揮された。

続いて職員のエレクトーンによるクリスマス曲を聴き、あつという間に午前の部は終了。

昼食は、可愛いミニゼリー付きの洋食クリスマスメニューに利用者さんの表情がほころんだ。

午後は、職員のギターで盛り上がり、ディナーショーのように歌を聴きながらケーキを食された。そのあと、シャンパンタイムでパーティーの雰囲気が高潮に。

職員バンドの歌に合わせて利用者さんもステージの前でウクレレやマラカス、タンバリンなどを鳴らして大賑わい。待望のサンタさんからのプレゼントタイムでは、両手を広げてプレゼントを受け取られる方や少し照れながら受け取られる方などほほえましい時間も。サウンドオブクリスマスの名にふさわしい楽しいクリスマス会となった。



んまっ!



メリークリスマス!!

今年の「豆まき」は?

Demon out!!

Future in!!

鬼は外!! 福は内!!

窓の隙間からこちらをじっと見つめる目。ざわつく利用者さん。真っ赤な鬼が窓から突如現れ、「わあー、えいこ」と紙で作った豆を、一斉に鬼めがけて投げられる。「あいたたた」と、逃げる鬼に容赦なく豆が投げつけられ、金棒置いて逃げていく。ストレス発散、鬼は、退散。「やったあー」と笑顔の声が上がった。

2月1日(日)、節分の由来や習わしを英語と日本語でクイズ形式で学びながら始まった豆まき行事。What do you eat? 恵方巻!! Ehomaki Hutoimaki 豆は英語で? Beans いわしは? Sardine 身振り手振りでヒントを出し合いながら、頭をひねらせ利用者さんも職員も共に答えを考え合った。その後、最後は、たくさんの福が訪れるように願いを込め、玄関でたくさんの豆を投げて頂き、楽しい豆まき行事は終了となった。



Demon out Future in



鬼だぞー

伊勢亀鈴会「もにす認定企業」に選出

3月17日(月)、伊勢亀鈴会が県内で29番目となる「もにす認定企業」に認められ、三重労働局の石田聡局長から横山理事長に認定通知書が手渡された。

「もにす認定」制度とは、厚生労働省が創設した、障がい者雇用の促進や安定に関わる取り組みなどを積極的に行う中小事業主を選定する認定制度である。

伊勢亀鈴会は、障がい者の雇用数が県内最多規模となったほか、市の庁舎や学校清掃など障がいのある人が能力を発揮できる場を提供していることなどが認定につながった。

横山理事長は「介護職員不足の解消や障がいのある人への施設利用の促進につなげ、障がい者の潜在能力を最大限にいかせるような環境をこれからも整備していきたい」と話された。



永年勤続表彰

5年		10年		20年	
宮の里ミタスメモリアルホーム	山口美智代	宮の里ミタスメモリアルホーム	大西純子	宮の里ミタスメモリアルホーム	大北允子
宮の里ミタスメモリアルホーム	中野雅彦	宮の里ミタスメモリアルホーム	鈴木美奈子	宮の里ミタスメモリアルホーム	小野金平
宮の里ミタスメモリアルホーム	平間悦子	宮の里ミタスメモリアルホーム	森良子	宮の里ミタスメモリアルホーム	小岸由香
宮の里ミタスメモリアルホーム	北山陽子	宮の里ミタスメモリアルホーム	小川結	宮の里ミタスメモリアルホーム	荻田知恵
宮の里ミタスメモリアルホーム	山名民子	宮の里ミタスメモリアルホーム	松島裕樹	宮の里ミタスメモリアルホーム	浅川尚史
宮の里ミタスメモリアルホーム	小西川浩志	宮の里ミタスメモリアルホーム	林真弓	宮の里ミタスメモリアルホーム	北村直子
宮の里ミタスメモリアルホーム	大川光海	宮の里ミタスメモリアルホーム	加納早由里	宮の里ミタスメモリアルホーム	川野真美子
宮の里ミタスメモリアルホーム	澤紘子	宮の里ミタスメモリアルホーム	吉田彰子	宮の里ミタスメモリアルホーム	松葉幸代
宮の里ミタスメモリアルホーム	山村巨記	宮の里ミタスメモリアルホーム	中野良樹	宮の里ミタスメモリアルホーム	小林輝子
宮の里ミタスメモリアルホーム	東浦光子	宮の里ミタスメモリアルホーム	西村春代	宮の里ミタスメモリアルホーム	杉本美和子
宮の里ミタスメモリアルホーム	十川晋明	宮の里ミタスメモリアルホーム	花井一幸	宮の里ミタスメモリアルホーム	畑雄也
宮の里ミタスメモリアルホーム	スラーカレン	宮の里ミタスメモリアルホーム	岸本隆行	宮の里ミタスメモリアルホーム	佐藤愛実
宮の里ミタスメモリアルホーム	伊藤敏一	宮の里ミタスメモリアルホーム	長岡潤一	宮の里ミタスメモリアルホーム	内堀美記
宮の里ミタスメモリアルホーム	奥村亜沙	宮の里ミタスメモリアルホーム		宮の里ミタスメモリアルホーム	



南勢地区記念写真



きれいサポートステーション



北勢地区記念写真

八野就労支援センター

八野生活介護センター



川村 浩也



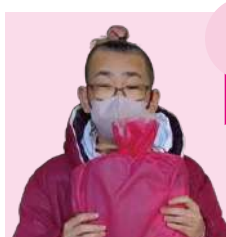
木塚 智美



三谷 友彦



小久保 源哉



大石 智也



長谷川 之乃



山鹿 香

きれいサポートステーション



瀬川 遥可



金子 菜乙音



岡田 優里菜



橋本 歩南



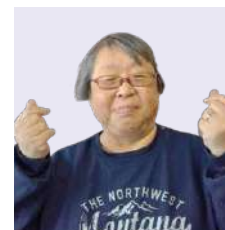
麻生 晃生

第2南勢就労支援センター

南勢就労支援センター



三瀬 まりな



中田 マサミ

宮の里ミタスメモリアルホーム



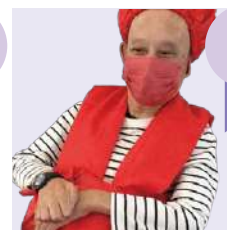
清水 七菜



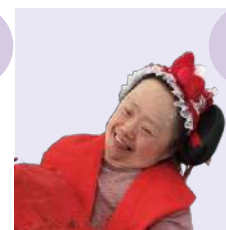
平野 恭伍



岸川 みゆき



片岡 正仁



山本 祥子

令和6年度 三重県障がい者芸術文化祭

11月22日(金)～24日(日)、津市白山総合文化センターにて三重県障がい者芸術文化祭が開催された。

書道の部で八野就労支援センター加藤弘貴さんの作品「楽しい己書」と、八野就労支援センター森田大志さんの作品「季節を感じよう!」、工芸の部で、きれいなサポートステーション林 岳人さんの作品「廃材で作ったペーパーフラワーリース」が見事受賞された。

加藤さんの作品は、「本文の内容と書の雰囲気がとても合っており、魚の絵と4行の縦書きの本文との調和が秀逸である。」と、三重県議会議長より高い評価をいただいた。

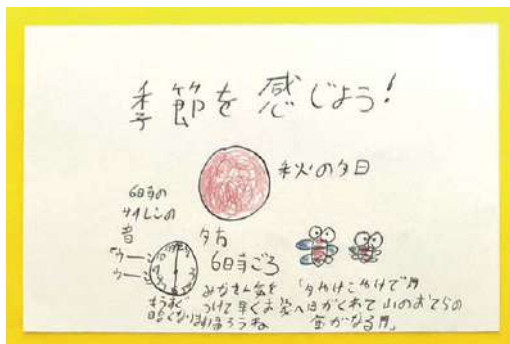
森田さんの作品は、日頃の観察と努力の積み重ねが審査員の心を掴み、きらめき新人賞受賞となり、本人もとても喜ばれていた。

林さんの作品は、視覚障がいの方などが鑑賞のため作品に触れることを意識して作られ、受賞を聞いたときはとても嬉しかった。

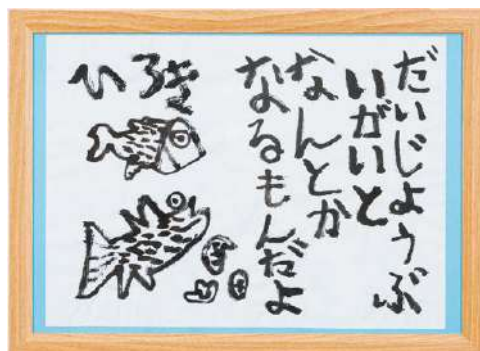
出品した全員の作品も一般展示され、利用者さんの日頃の頑張りをみていただく良い機会となった。



実行委員会長賞
林 岳人さん
「廃材で作ったペーパー
フラワーリース」



きらめき新人賞
森田 大志さん「季節を感じよう!」



三重県議会議長賞
加藤 弘貴さん「楽しい己書」



林さん



加藤さん



森田さん

理事長と記念撮影



伊藤和之さん
ありがとうございます

和之さんと言えば、大きな身体と優しい笑顔、帽子がトレードマーク。

約30年という長い月日を一緒に過ごしてきました。

ウエスの作業では、リーダーとして頼りになる存在でした。いつでも一生懸命作業に取り組む姿、周囲に気配りをする姿は、私たちもたくさん成長させていただきました。

令和6年9月29日、旅立たれました。葬儀にはたくさんの仲間が涙を流し、和之さんの人柄が現われた様でした。長い間、八野就労支援センターのために、心からありがとうございました。

きれい
アート
ギャラリー

きれいアートギャラリーでは利用者さんの作った物、書いた物など作品を紹介していきます。
各施設の力作が勢ぞろい！是非ご覧ください。



八野就労支援センター

「羽子板作り」
生活クラブのみなさん



「青鬼のお面」
伊藤 勇さん



「赤鬼のお面」
川端 一世さん



「僕の好きなアイドル」
古賀 拓也さん



「スワン」
伊藤 里江さん

きれいサポートステーション



中世古 優衣さん



山本 雄介さん

南勢就労支援センター



郭 大亜さん



尼子 真優華さん



藤村 悦美さん

きれいかいの動き

新職員紹介

八野生活介護センター

南勢就労支援センター



小林 泰芽



山本 康太



濱口 泰子



前田 義久



河本 清行

宮の里ミタスメモリアルホーム

第2南勢就労支援センター



小林 さつき



岡田 里美



山本 晋也

※掲載中の写真におけるマスクの取り外しについて

各施設とも感染症対策のため、マスク着用は徹底しておりますが、一部の記事ではマスクをしていると表現が伝わらない部分もありましたので、マスクを外して撮影させていただきました。ご協力ありがとうございました。

編集後記

第2南勢就労支援センターの系川です。

令和7年度、初回巻頭インタビューでは、普段味わう事のない緊張感だった。理事長のやさしい心遣いに緊張もほぐれ、利用者さんや職員への想いをしっかりと聞くことが出来た。理事長との対話の後、前向きになっている自分を感じることができた。

亀鈴会の一員としての自覚を持ち、「興味をもって、チャレンジし、経験を積む」この言葉を大切にして、努力していきます。

そして、発行に関わられた皆様にお礼を申し上げます。

で寄付をいただきました。
ありがとうございました。

で寄付 2024.12.1~2025.2.28

法人

坂回 飛鳥様 一般
野里 浩様 一般

福祉葬祭三重

真宗高田派 法流寺様
浄土宗 春養院様
真言宗醍醐派 一心寺様

ボランティアさん募集!!

八野生活介護センターと宮の里ミタスメモリアルホーム、二見生活介護支援センター潮音では、昼間ボランティアさんの趣味・特技を活かし利用者さんと一緒に活動していただける方を探しています。

現在、俳句・読み聞かせなど、ボランティアさんに来ていただいています。利用者さんと娯楽(卓上ゲーム等)・園芸・話し相手など気楽に接していただける方も募集しております。

ご希望の方は、ぜひ一度各施設までお問い合わせください。

問い合わせ

八野生活介護センター 担当:高田 TEL059-378-8881
宮の里ミタスメモリアルホーム 担当:澤 TEL0596-58-5030
二見生活介護支援センター潮音 担当:倉田 TEL0596-72-8822



きれい通信 ちよつと寄り道!!

民話の駅 蘇民



蘇民とは、各地に伝わる逸話や伝承に登場する人物で、疫病や災難を避ける神として信仰されています。この地方では、一年中しめ縄を玄関に飾り、「蘇民将来子孫家門」の木札は、家族の無病息災を護ってもらう風習があるのだそうです。

近くの松下社には、三重県天然記念物に指定された樹齢1800年とも言われる大クスの老木もあります。そのような場所にある「民話の駅 蘇民」では、二見近郊でとれた新鮮な農産物や魚介類の直売と、素材を使った手作りお菓子やつきたてのお餅を販売されています。

お土産コーナーでは、二見の銘菓や岩戸の塩などがあります。

また、都市農村交流の意見の交換の場として多目的ミーティングルームも設置され、憩いの場となっています。

隣接地には、菖蒲や蓮、紫陽花など4万株100品種以上の花が咲きそろう二見しょうぶロマンの森があり、散歩も楽しめます。

一度訪れてみてはいかがでしょうか？



指定就労継続支援B型事業所

印刷

八野就労支援センター
きれいな印刷工場

〒513-0837 鈴鹿市八野町22番地の1
☎059-375-4381 FAX 059-340-8810 e-mail insatsu@kirei.or.jp

指定障害者支援施設・指定生活介護事業所・指定短期入所

八野生活介護センター

指定放課後等デイサービス事業所

URAURA八野

〒513-0837 鈴鹿市八野町428番地の1
TEL059-378-8881代 FAX059-379-3223
e-mail hachino@kirei.or.jp

指定放課後等デイサービス事業所

URAURA稲生

〒510-0205 鈴鹿市稲生4丁目19-6
TEL059-392-5130代 FAX059-392-5131

指定就労継続支援事業所・指定生活介護事業所

八野就労支援センター

〒513-0837 鈴鹿市八野町22番地の1
TEL059-378-6622代 FAX059-378-5335
e-mail hachino2@kirei.or.jp

指定就労継続支援事業所

福祉の森の家 体にいいおにぎり屋

〒510-0254 鈴鹿市寺家7丁目11-30
TEL059-380-6355 FAX059-367-7377

指定共同生活援助事業所

グループホームきれい

〒510-0254 鈴鹿市寺家7丁目11-30
TEL059-388-1508 FAX059-388-1508

指定共同生活援助事業所

グループホームきれい 空羅多ガーデン (ふたがーでん)

〒513-0207 鈴鹿市稲生増屋2丁目1番5号
TEL059-388-1882 FAX059-388-1882

指定共同生活援助事業所

グループホームきれい 亀山 第1栗の木ヴィレッジ

(第1)〒519-0166 亀山市布気町1446-2
TEL0595-96-8182 FAX 0595-96-8182

指定共同生活援助事業所

グループホームきれい 亀山 第2栗の木ヴィレッジ

(第2)〒519-0166 亀山市布気町1446
TEL0595-96-8183 FAX 0595-96-8183

指定共同生活援助事業所

グループホームきれい 御米の杜 (みのとのもり)

〒515-0354 多気郡明和町行部131
TEL0596-55-6800 FAX 0596-55-6800

指定共同生活援助事業所

グループホームきれい みや川

519-0504 伊勢市小俣町宮前31-2
TEL0596-20-8530 FAX0596-20-8531

指定就労移行支援事業所・指定就労継続支援事業所・指定就労定着支援事業所

きれいなサポートステーション

〒510-0253 鈴鹿市寺家町1416-1
TEL059-388-0864 FAX059-367-7911

指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業・指定一般相談支援事業

きれいなライフステーション

〒510-0253 鈴鹿市寺家町1416-1
TEL059-340-7997 FAX059-367-7050

指定障害者支援施設・指定生活介護事業所・指定短期入所

宮の里ミタスメモリアルホーム

〒519-0427 度会郡玉城町宮古728番地の18
TEL0596-58-5030 FAX0596-58-5033
e-mail miyanosato@kirei.or.jp

指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業

宮の里ライフステーション

〒519-0427 度会郡玉城町宮古728番地の18
TEL0596-58-8588 FAX0596-58-5033

指定生活介護事業所・指定短期入所

二見生活介護支援センター 潮音 (しおね)

〒519-0609 伊勢市二見町茶屋310番地
TEL0596-72-8822 FAX0596-72-8823

指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業

潮音ライフステーション

〒519-0609 伊勢市二見町茶屋310番地
TEL 0596-63-5061 FAX/0596-72-8823

指定就労移行支援事業所・指定就労継続支援事業所

指定就労定着支援事業所・指定生活介護支援事業所

南勢就労支援センター

〒519-0427 度会郡玉城町宮古字鉢岡728番地の18
TEL0596-58-0101代 FAX0596-58-6742
e-mail nansei@kirei.or.jp

指定就労継続支援事業所

お弁当屋 潮音 (しおね)

〒516-0609 伊勢市二見町茶屋310
(二見生活介護支援センター潮音内)
TEL0596-72-8808 FAX0596-72-8817
e-mail obentoya-shione@kirei.or.jp

指定就労継続支援事業所

第2南勢就労支援センター

〒515-0347 多気郡明和町志貴里中1134-3
TEL0596-55-6711代 FAX0596-55-3535
e-mail nansei2@kirei.or.jp

指定就労継続支援事業所

福祉葬祭三重 福祉会館 白子

〒510-0236 鈴鹿市中江島町14-12
TEL059-380-1711 FAX059-380-1712

指定就労継続支援事業所

福祉葬祭三重 福祉会館 鈴鹿南

〒510-0253 鈴鹿市寺家町1247-1
TEL059-380-1717 FAX059-380-1720

指定就労継続支援事業所

福祉葬祭三重 福祉会館 津

〒514-0014 津市港町18-12
TEL059-213-1717 FAX059-213-1771

指定就労継続支援事業所

福祉葬祭三重 福祉会館 伊勢

〒516-0013 伊勢市鹿海町656-1
TEL0596-26-3170 FAX0596-26-3025

社会的事業所

まかせ太君 (鈴鹿)

〒513-0836 鈴鹿市国府町字高群3917-272
TEL059-370-8118 FAX059-370-8119

社会的事業所

まかせ太君 (伊勢)

〒519-0504 伊勢市小俣町宮前741
TEL0596-63-5450 FAX0596-63-5451